

校訓：明朗 闊達 質朴 目指す生徒像：し ば た か じ か わ の生徒

かじかわ

し 思考し学び合う生徒

ば 場と時を大切にす生徒

た 大夢を抱く生徒

か かかわり、いい関係をつくる生徒

じ 自信のつく事実を積み上げる生徒

か かけがえのない自分、どう生きるかを問い続ける生徒

わ 分らなさを大事にし、分かるまで、考え追究する生徒

新発田市立加治川中学校 令和3年9月9日 第8号

□「最高の笑顔」で「三つの喜び」を体感した「気炎万丈」の体育祭 校長 星 渉

9月7日（火）の全校朝会では、体育祭を振り返って、以下の3つの話をしました。

○「気炎万丈」の体育祭

9月5日（日）の体育祭は皆さんの「気持ちの炎が熱く燃え、一帯を埋め尽くして」おり、まさに「気炎万丈」のスローガンどおりの体育祭となりました。コロナ禍の中ではありましたが、アイデアが豊富であり準備段階から新企画満載の体育祭となりました。具体的には3年生を中心とした連合ごとの「映画づくり」や7月末の2日間に渡る「連合対抗レクリエーション大会」は学年の壁は取り払い、連合ごとの結束を強め一体感を高めていました。サプライズ企画の「全校ダンス」や移動エリアを拡大した午前の「応援合戦」も含めて、歴史と伝統のある加治川中体育祭がさらにバージョンアップしたものになりました。学年種目や生徒会種目の工夫も見られ、練習段階から生徒自らの思いを込めて、生徒が生徒に働きかけて創り上げる体育祭となりました。

○「最高の笑顔」と「感動の涙」

心を開いて、心を開放したときに生まれる自然な笑顔が「最高の笑顔」です。体育祭では「最高の笑顔」を随所に見ることができました。「最高の笑顔」は思いっきり自己を開放して喜びを表現できる証であり素晴らしいことです。自分を開放してかかわり活動できると個人や集団は伸びていきます。3年生を中心としたリーダーが、全体をよりよい雰囲気にして、心をつなぎ、丁寧に教え、進歩を認め、感謝とねぎらいの気持ちを伝えていました。「笑顔」は「心の状態」と関係があり、オキシトシンといった幸せホルモンなどの脳内化学物質の分泌を促します。つながりとかかわりがより良くなると、自己開示や自己表現が十分にできるようになり、授業や様々な活動の質が一層高まります。また、閉会式や解団式では多くの生徒が「感動の涙」を流していました。涙は熱中と感動の証であり一生懸命に取り組んだからこそ流せるものです。「最高の笑顔」も「感動の涙」もキーワードは「自己開示」です。体育祭を契機として、自己開示して仲間や先生とつながったり、かかわったりする関係が一層醸成されることを期待しています。

○「三つの喜び」の体感

「三つの喜び」を体感すると自信が付き、心が満たされます。次へのエネルギーや意欲の高まり、生きる力が湧いてきます。体育祭では多くの皆さんが「三つの喜び」を体感したと思います。2学期は、桜加祭などの行事や部活動、学習では、授業や家庭学習の充実、進路実現に向けた準備等があります。今までどおり「三立」を意識して体育祭で高まったエネルギーを次につなげましょう。また、「三つの喜び」を感じることで自分自身に合った職業や生き方を考えることも極めて重要です。

「三つの喜び」

「自分の持ち味を生かし、人の役に立つ喜び」（自己発揮と貢献）

「自分たちで考え、決め、成功させる喜び」（自己決定と成功）

「仲間と協力して、やり遂げる喜び」（協力と達成）

体感

エネルギー・意欲
（生きる力が湧く）

□ 「気炎万丈～Get your own gold medal」

9月5日（日）

順延をして9月5日（日）に開催した令和3年度加治川中学校体育祭は絶好の体育祭日和となりました。コロナ禍の中、この日のために6月に体育祭実行委員会を組織し、赤連合・青連合とも準備を進めてきました。応援とダンスの振り付けや連合旗の制作を中心に力を入れてきました。

夏休み明けから体育祭までは1週間という短い期間でしたが、全体での練習や応援が本格的に始まり、士気が最高潮に達し体育祭当日を迎えました。当日は保護者の皆様から熱い御声援をいただき、生徒は競技や応援に全力投球できました。

最後の解団式では、互いの健闘をたたえ合うとともに、思いを一つにした体育祭の成功を分かち合い、感動の笑顔と涙で終えることができました。最後まで諦めず戦い「気炎万丈」のスローガンどおりの燃える思いが広がった体育祭となりました。

生徒会長挨拶

長谷川 綾香さん

おはようございます。皆さん、いよいよ体育祭当日になりました。今年の体育祭スローガンは「**気炎万丈～Get your own gold medal**」です。

どちらの連合も競技・応援ともに全力を尽くし**自分だけの自分にしかとれない金メダルを手に入れましょう。**

また、私は体育祭終了後、皆さんが、「楽しかった」「最高だった」という気持ちになれば、体育祭は大成功ということになると思っています。勝敗はありますが、体育祭を楽しみましょう。

この御時世、コロナ禍でさまざまなイベントが中止となっています。しかし、ここで令和3年度加治川中学校体育祭が行えることに感謝し、皆さんで「最高の体育祭」にしましょう。